

# 第1回 JR肥薩線検討会議

令和4年3月22日（火）  
13：30～14：30  
熊本県庁本館地下大会議室

## 議事次第

### 1. 開会

### 2. 議事

- (1) JR肥薩線検討会議の設置について
- (2) JR肥薩線の状況について
- (3) 今後の事業間連携の方向性
- (4) その他

### 3. 閉会

<配付資料一覧>

- ・ 議事次第
- ・ 構成員名簿

【資料1】 JR肥薩線検討会議設置目的等

【資料2】 JR肥薩線の状況

【資料3】 事業間連携により効率的に進められる事業

【資料4】 JR肥薩線復旧に向けた県及び地元市町村の取り組み

# J R 肥薩線検討会議構成員名簿

(順不同、敬称略)

## 【構成員】

たじま とおる  
田嶋 徹 熊本県 副知事

おくだ かおる  
奥田 薫 国土交通省大臣官房技術審議官（鉄道）

ふじまき ひろゆき  
藤巻 浩之 国土交通省九州地方整備局長

かわはらばた とおる  
河原畑 徹 国土交通省九州運輸局長

ふるみや ようじ  
古宮 洋二 九州旅客鉄道株式会社  
取締役専務執行役員 総合企画本部長

## 【事務局】

国土交通省鉄道局、熊本県企画振興部

(令和4年3月時点)

## 設置目的

JR肥薩線検討会議は、令和2年の大雨で被災した肥薩線について、河川や道路などの公共事業との連携の可能性も含めた復旧方法及び復旧後の肥薩線の在り方などについて検討することを目的とする。

## 検討事項(案)

- 肥薩線の概要
- 被害状況
- 復旧費用
  - ・過去の被災路線の復旧方法
  - ・被災路線への支援制度
  - ・他事業との連携の可能性等を踏まえて検討

### ○復旧後の在り方

※検討状況を踏まえ、検討事項を追加

## 開催時期

- ・概ね1～2ヶ月に1度を目途に開催



# 肥薩線の状況について

2022年 3月 22日

九州旅客鉄道株式会社



KYUSHU RAILWAY COMPANY





## 1. 令和2年7月豪雨による被災状況

- ・ 令和2年7月豪雨によるJR肥薩線の主な被害（全体概要）
- ・ 球磨川第1橋りょう、第二球磨川橋りょうの被害
- ・ その他の被害

## 2. JR肥薩線の復旧費

- ・ 概算復旧費算出の前提
- ・ 概算復旧費算出イメージ  
鎌瀬・瀬戸石間 球磨川第1橋りょう  
那良口・渡間 第二球磨川橋りょう
- ・ 概算復旧費



# 令和2年7月豪雨による JR肥薩線の主な被害（運休区間）





# 令和2年7月豪雨によるJR肥薩線の主な被害（運休区間）

区間別	被害件数
八代～人吉	419件
人吉～吉松	29件
計	448件

沿線自治体別		被害件数
熊本県	八代市	124件
	芦北町	173件
	球磨村	113件
	人吉市	37件
宮崎県	えびの市	0件
鹿児島県	湧水町	1件
計		448件

※吉松～隼人間：2件

## 「令和2年7月豪雨」に伴う主な被災状況（肥薩線）

2020年7月20日 現在

① 八代・坂本間9k500付近路盤流出

② 葉木・鎌瀬間14k700付近路盤流出

③ 葉木・鎌瀬間15k500付近土石流（葉木トンネル）

④ 瀬戸石駅構内乗降場、路盤流出

⑤ 海路・吉尾間25k000付近路盤流出

⑥ 球磨川・一勝地間35k200付近切取崩壊

⑦ 球磨川・一勝地間35k500付近土砂流入

⑧ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

⑨ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

⑩ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

⑪ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

⑫ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

⑬ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

⑭ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

⑮ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

⑯ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

⑰ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

⑱ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

⑲ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

⑳ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㉑ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㉒ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㉓ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㉔ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㉕ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㉖ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㉗ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㉘ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㉙ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㉚ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㉛ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㉜ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㉝ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㉞ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㉟ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㊱ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㊲ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㊳ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㊴ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㊵ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㊶ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㊷ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㊸ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㊹ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㊺ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㊻ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㊼ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㊽ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㊾ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

㊿ 球磨川・一勝地間40k360付近路盤流出

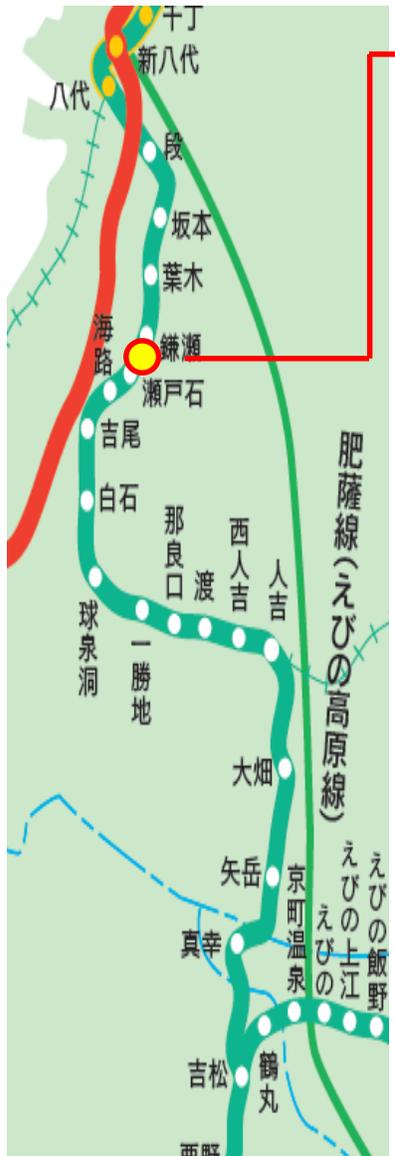




# 球磨川第1橋りょう、 第二球磨川橋りょうの被害



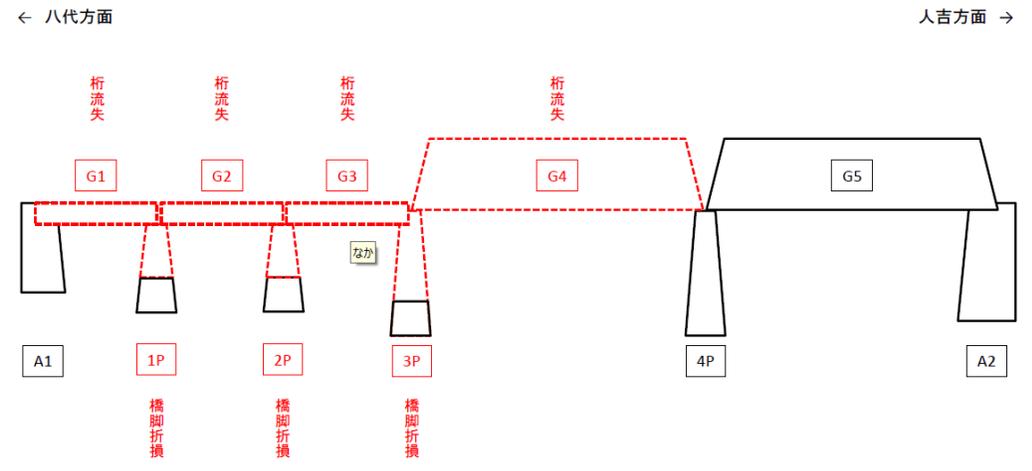
# 球磨川第1橋りょう、第二球磨川橋りょうの被害



## 球磨川第1橋りょう



橋りょう	被災数
・デッキガーダー	3連(流失)
・トラス	1連(流失)
・橋脚	3橋脚(折損)



# 球磨川第1橋りょう、第二球磨川橋りょうの被害



## 第二球磨川橋りょう

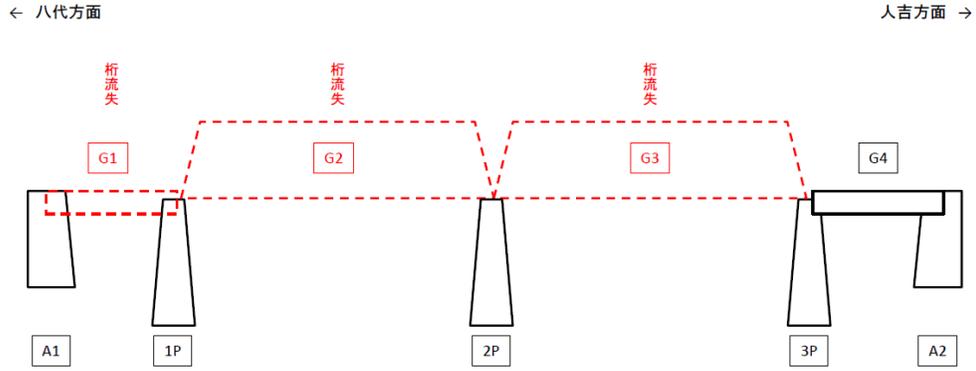
【被災前】



【被災後】



橋りょう	被災数
・デッキガーダー	1連(流失)
・トラス	2連(流失)



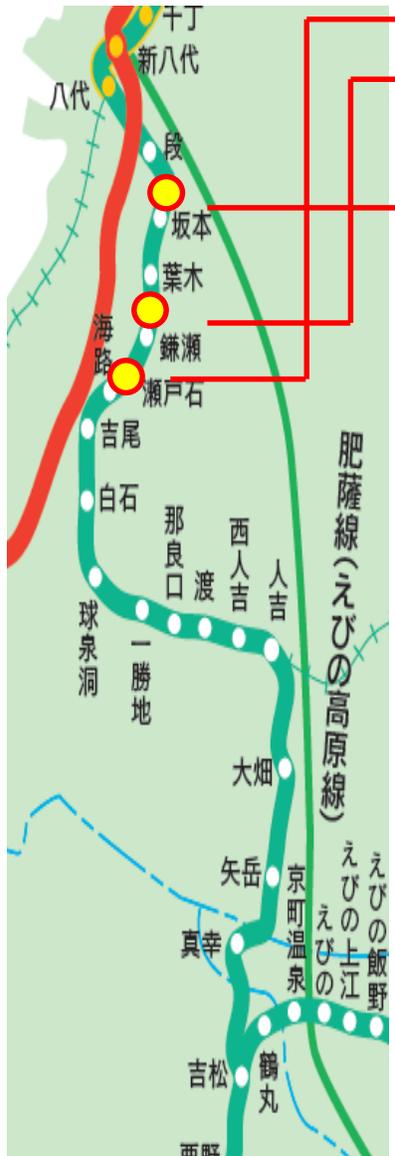


# その他の被害





# その他の被害



## 鉄道盛土(路盤)

【被災前】



【被災後】



## 球磨川支川の橋りょう

【被災前】



【被災後】



## 駅

【被災前】



【被災後】





# 概算復旧費算出の前提





- 球磨川を渡河する橋りょう（球磨川第1橋りょう、第二球磨川橋りょう）については、昨年12月に変更された「河川整備基本方針」に基づく計画高水位を参考に、橋りょうの復旧高さを設定し概算復旧費を算出
- 上記を除く一般区間については、被災前と同じ線路高での復旧とし概算復旧費を算出





# 概算復旧費算出イメージ



## 球磨川第1橋りょう



### ① 橋りょうの嵩上げ

- ・ 令和2年7月豪雨と同規模の降雨があれば、再度橋りょう流失の可能性があるため、河川整備基本方針の変更で示された、「計画高水位+1.5m」を満足する高さで橋りょう復旧を検討

### ② 治水計画（「球磨川水系流域治水プロジェクト」や「河川整備基本方針の変更」）を考慮

- ・ 「河道掘削」を考慮し、橋脚の撤去・新設を検討

## 第二球磨川橋りょう



### ① 橋りょうの嵩上げ

- ・ 令和2年7月豪雨と同規模の降雨があれば、再度橋りょう流失の可能性があるため、河川整備基本方針の変更で示された、「計画高水位+1.5m」を満足する高さで橋りょう復旧を検討

### ② 治水計画（「球磨川水系流域治水プロジェクト」や「河川整備基本方針の変更」）を考慮

- ・ 「河道掘削」「引き堤」を考慮し、橋脚の撤去・新設や橋りょうの延伸を検討



# 概算復旧費



## 鉄道で復旧する場合の概算復旧費

# 2 3 5 億円

### 【内訳】

球磨川第1橋りょう区間：約 64億円（鎌瀬トンネル改築含む）  
第二球磨川橋りょう区間：約 61億円  
上記以外の区間：約110億円

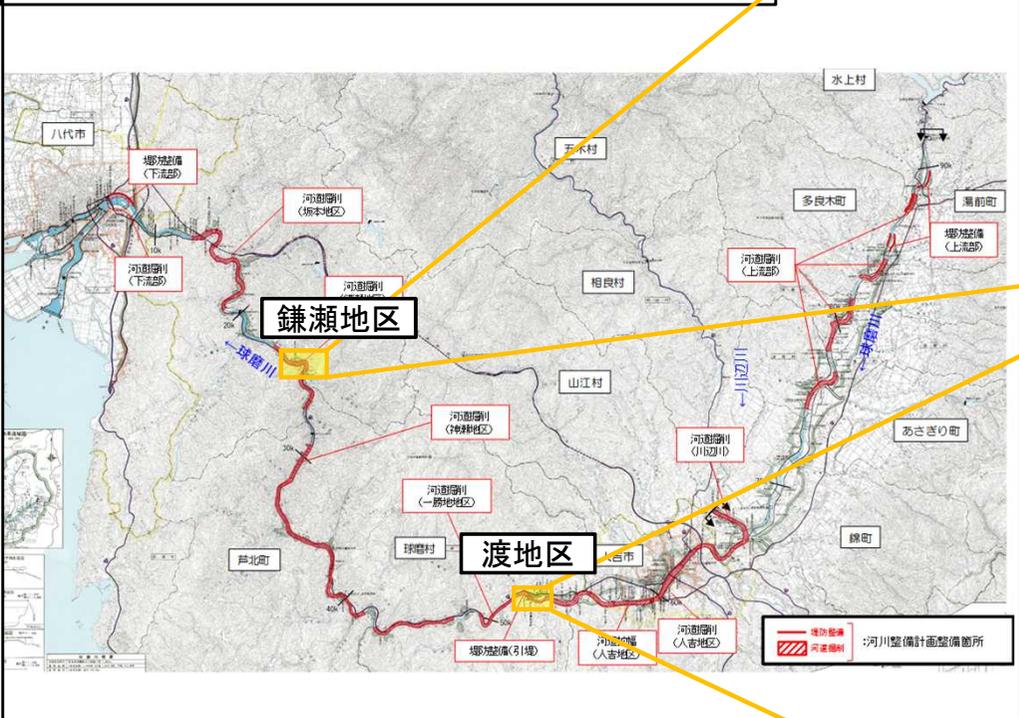
## 事業間連携により効率的に進められる事業

- 河川事業との連携
- 道路復旧事業との連携

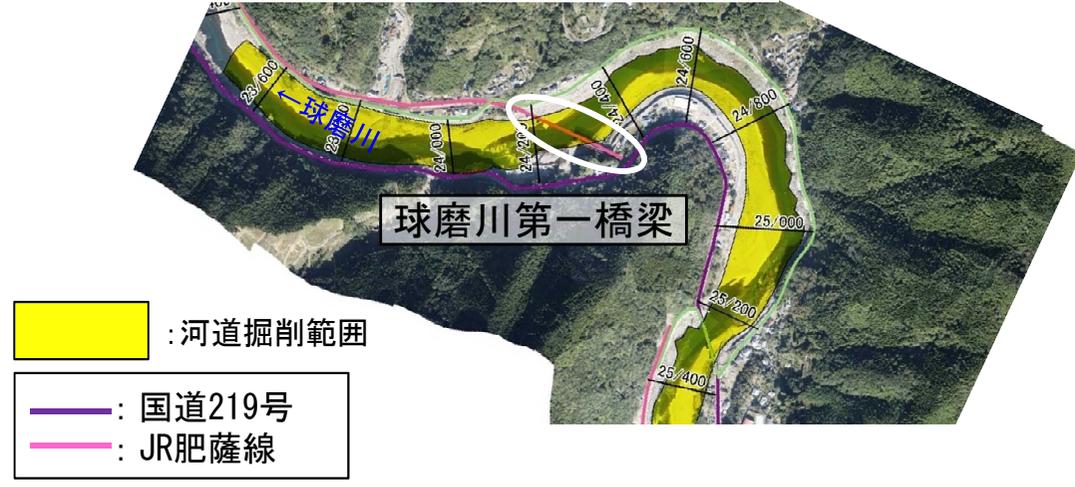
# 河川事業との連携

- 球磨川第一桥梁及び第二球磨川桥梁は、桥梁前後区間で河道掘削を行う計画としており、橋脚等に影響がある場合は、その橋脚等について、河川事業の補償工事として復旧工事を実施する。
- 河川工事に必要な工事用道路や仮設橋を設置した場合、他の工事と共用できることがある。
- 第二球磨川桥梁は、引堤に伴い延伸が必要となるため、河川管理者が応分の費用負担をする。

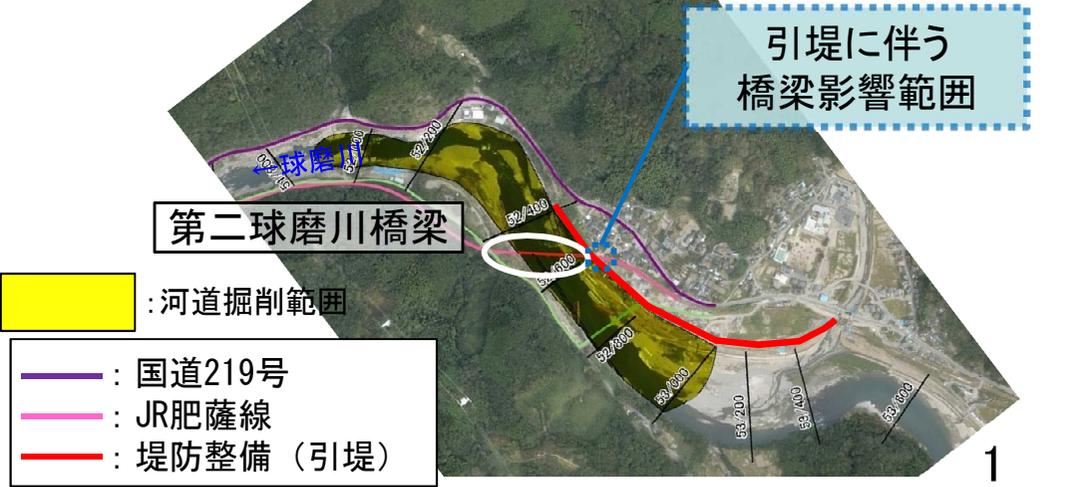
河川整備計画 整備予定箇所(堤防整備、河道掘削)



八代市坂本町鎌瀬地区付近 (23k600~25k400付近)



球磨村渡地区付近 (51k800~53k600付近)



※現時点での予定箇所及び規模であり、変更の可能性があります。

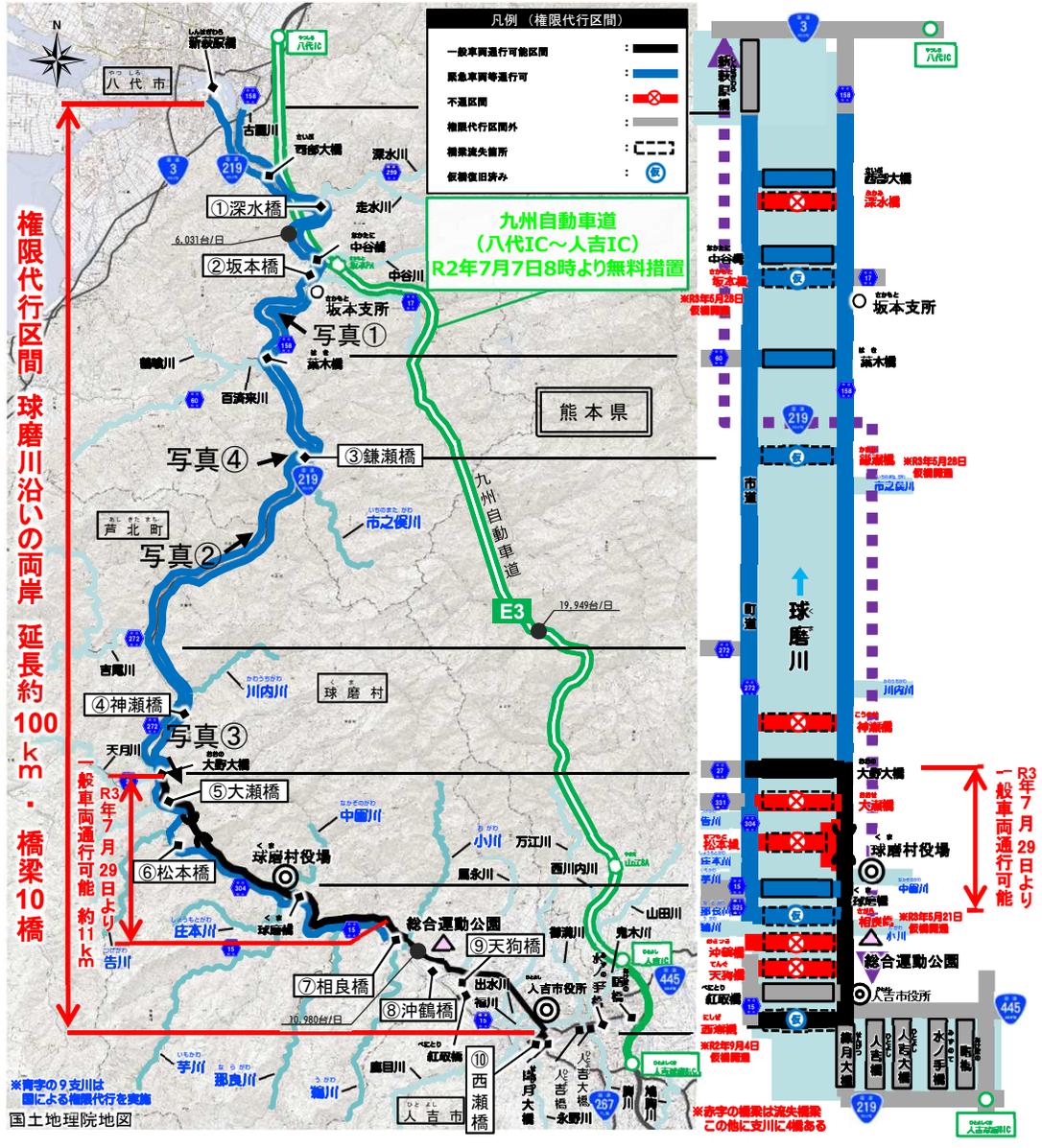
# 国の権限代行による災害復旧【国道219号及び並行する県道等】

- 球磨川に架かる10橋、兩岸道路約100kmの早期復旧に向け、国の権限代行による災害復旧事業に令和2年7月22日着手
- 道路の応急復旧や仮橋の設置、流失した橋桁等の撤去を推進
- 国道219号の大野大橋から人吉市方面(延長約11km)について、R3年7月29日より一般車両の通行が可能

## <被災状況>

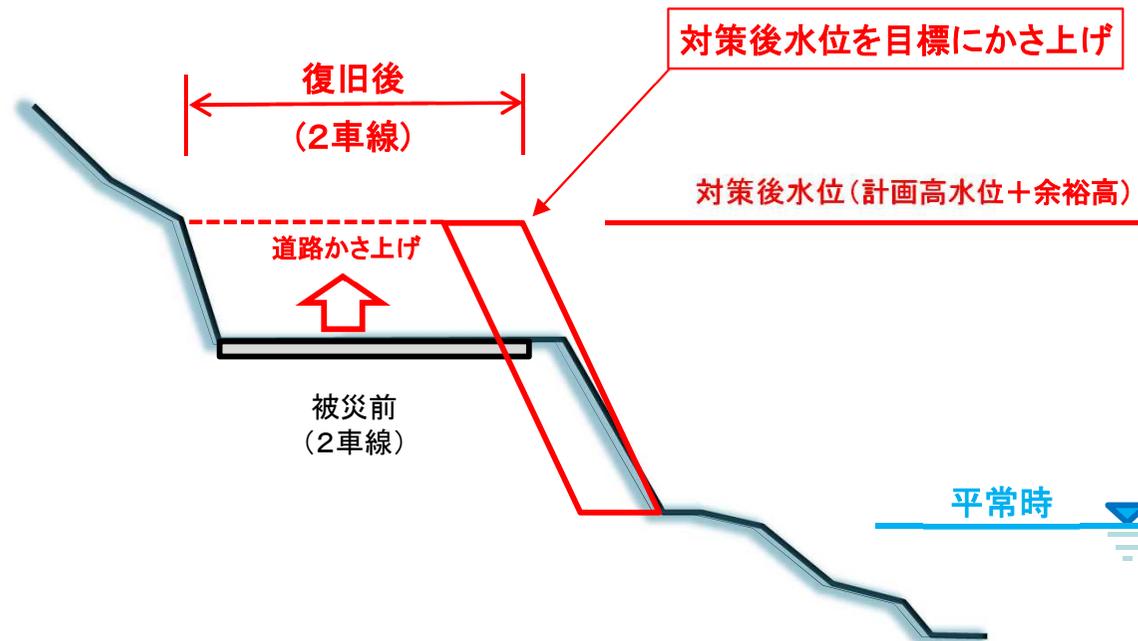


## <復旧状況>



# 国道219号等の道路復旧方針

- 国道219号は、災害時に強靱で信頼性の高い避難路として機能するよう対策後水位(計画高水位+余裕高)を目標にかさ上げを実施



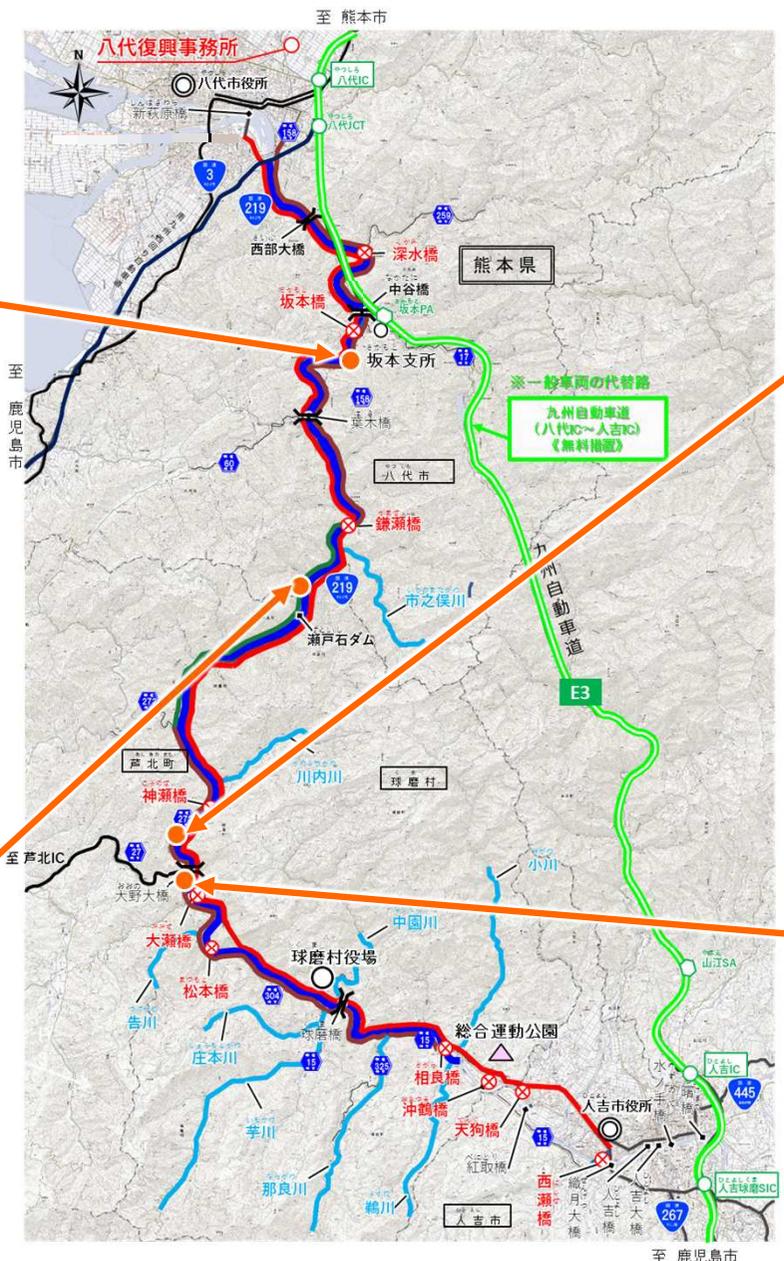
△国道219号 復旧イメージ

- 対岸道路(県道等)は、「迅速かつ的確な避難」と「被害の最小化」を図る取り組みの一環として、集落の孤立を回避するかさ上げを実施
- 幅員については、原則として、現行基準(幅員5m以上)を満足する幅員で復旧
- 今後、各自治体が定める避難計画や、まちづくり計画等を踏まえ、各自治体と調整

# 道路復旧事業との連携

- JR肥薩線のうち道路と並行※するところについて、道路工事の工事用道路として復旧・活用
- 工事用道路として使用後は、JRへ返還

## ＜JR肥薩線使用事例＞



※「並行」とは道路と鉄道との距離が近いところ

# J R肥薩線復旧に向けた県及び地元市町村の取組み

R4. 3. 22 交通政策課

## 県のこれまでの動き

肥薩線は地域における通勤・通学、地元の生活を支えるとともに、「SL人吉」や「やませみ かわせみ」などが走る観光路線であり、本県有数の観光資源であるため、被災当初からJR九州に対し鉄道での復旧をお願いするとともに、県としても復旧に関する協議に取り組むこととしている。

- 令和2年7月豪雨からの復旧復興プラン  
「**緑の流域治水**」の推進と復旧・復興に向けた重点10項目」に「**鉄道の復旧**」として位置付け  
➔県として、JR九州の復旧費・復旧方針等の公表後、復旧に向けた協議を行っていく
- 定例会知事答弁、定例会見発言
  - ・肥薩線は地域の産業や人々の暮らしを支えている重要な交通機関。一日も早い復旧をお願いしたい。
  - ・復旧については、国・県・地元市町村が協力していくことが重要。
  - ・JR九州の復旧方針を踏まえ、関係者と協議を行っていく。
- 政府要望の実施  
「鉄道の早期復旧に向けた支援」に関し、国へ要望

## 地元市町村のこれまでの動き

### ○要望活動

- ・R2. 10月、R4. 2月  
肥薩線利用促進・魅力発信協議会によるJR九州に対する要望活動  
※肥薩線利用促進・魅力発信協議会 会長 松岡人吉市長  
構成：県内12市町村、えびの市（宮崎県）、伊佐市・湧水町（鹿児島県）

### ○肥薩線復旧を願うアピール集会の開催（R4. 3. 20）

- 人吉市において肥薩線復旧を願うアピール集会の開催  
主 催：肥薩線利用促進・魅力発信協議会  
参加者：金子総務大臣、松村参議院議員、関係県議、地元議会議員長、蒲島熊本県知事 他



## 県及び地元市町村のこれからの取組み

### JR肥薩線検討会議

国、県、JRが連携することにより、JR肥薩線の復旧に向けた方策を検討

構成員：国、県、JR

検討会議と地元自治体等との連携

### ●「肥薩線再生協議会(仮)」の設立

県及び関係市町村をメンバーとした協議会を設立し、地元自治体の連携を強化し、JR九州とともに復旧に向けた方策の検討や持続可能な経営に向けた今後の利活用促進等について協議を行う。

構成：熊本県、地元市町村 事務局：熊本県、人吉市

- 協議内容
- JRから提示された復旧方針案を受け、復旧に向けた方策の検討
  - 持続可能な運行に向けた利活用促進策等の協議
  - 関係機関への要望活動の実施 等